

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社 昭和真空

上場取引所 東

コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0385

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,324	△28.4	△326	—	△288	—	△407	—
25年3月期第3四半期	4,645	1.3	△69	—	△56	—	△68	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △325百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △73百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	△66.12	—
25年3月期第3四半期	△11.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第3四半期	8,238	5,147	62.5	835.81
25年3月期	9,921	5,534	55.8	898.61

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 5,147百万円 25年3月期 5,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	6,000	△20.2	△454	—	△419	—	△514	—	△83.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	6,499,000 株	25年3月期	6,499,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	340,242 株	25年3月期	340,242 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	6,158,758 株	25年3月期3Q	6,158,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では量的金融緩和策縮小への動きが見られ、下降局面が続いていた欧州や新興国でもようやく底入れの兆しがあり、緩やかな回復が続くなか底堅さが増してきました。わが国経済は、政府の積極的な経済・金融政策の影響により、円安株高基調が定着しつつあることなど、全般的な経済環境はやや好転しているものの、消費税増税を控えて個人消費低迷への懸念と海外経済の動向が下振れリスクとして存在しており、依然として先行きの見通しは不透明な状況が続いています。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォンやタブレットPCの成長が、当社グループの主要な取引先である電子デバイス業界を引き続き下支えしているなか、引合いや依頼実験が増加傾向になるなど、ユーザーの設備投資は、依然として慎重な姿勢は崩さないものの回復への気配を見せてきました。

こうした環境の中、当社グループでは、主にスマートフォン用の電子デバイス市場に向け、地域としては中国、台湾を中心としたアジア地域へ引き続き拡販に努めました。前年同四半期に比べ、受注は18.8%の増加となりましたが、売上高は28.4%の減少と厳しい状況が続きました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高51億91百万円（前年同四半期比18.8%増）、売上高33億24百万円（同28.4%減）となりました。

損益につきましては、経常損失2億88百万円（前年同四半期は56百万円の経常損失）、四半期純損失4億7百万円（前年同四半期は68百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、光学装置でまとまった受注があったものの、ユーザーの設備投資に対する動きは依然として慎重でした。受注高は43億35百万円（前年同四半期比20.0%増）、売上高は24億69万円（同36.5%減）、セグメント利益は1百万円（同99.6%減）となりました。

業界別の状況は以下のとおりであります。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、最新装置の拡販を中心に推進してまいりましたが、設備投資の回復は見られず、受注・売上ともに厳しい状況となりました。

水晶デバイス装置の受注高は11億21百万円（前年同四半期期比24.2%増）、売上高は9億80百万円（同35.0%減）となりました。

(光学装置)

光学業界では、中国、台湾を中心としたアジア市場を中心に営業活動を推進してまいりました。

光学装置の受注高は21億98百万円（前年同四半期比16.3%増）、売上高は7億30百万円（同64.0%減）となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、増産設備投資に対する動きは依然として慎重であり、前年同期にくらべると増加になったものの、売上・受注ともに厳しい状況は続きました。

電子部品装置・その他装置の受注高は10億15百万円（前年同四半期比23.6%増）、売上高は7億57百万円（同113.7%増）となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する定期訪問、定期連絡による、装置の改良提案、生産終了品目の案内と新機種への取替え提案などに積極的に取り組んできた効果が確実に少しずつ出てきました。

サービス事業の売上高は8億55百万円（前年同四半期比13.2%増）、セグメント利益は71百万円（同36.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は51億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億60百万円減少しました。これは主に原材料が1億34百万円、仕掛品が3億27百万円増加したものの受取手形及び売掛金が19億4百万円、現金及び預金が1億3百万円減少したことによるものです。固定資産は31億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少しました。これは主に投資有価証券が23百万円増加したものの、有形固定資産及び無形固定資産が減価償却等により44百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は82億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億83百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、14億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億31百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が10億20百万円、短期借入金が1億79百万円、賞与引当金が1億7百万円減少したことによるものです。固定負債は16億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加しました。これは主に長期リース債務が17百万円、長期繰延税金負債が13百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は30億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億96百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は51億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億86百万円減少しました。これは主に剰余金の配当が61百万円あり、さらに包括利益が3億25百万円の損失となったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.5%（前連結会計年度末は55.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成25年11月13日付「平成26年3月期第2四半期累計期間業績予想数値と実績値の差異、通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、当社グループを取り巻く市場動向を踏まえ、今後の業績推移につきましてはより慎重に注視し、連結業績数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	967,472	863,728
受取手形及び売掛金	3,736,332	1,831,591
商品及び製品	6,662	3,563
仕掛品	1,474,495	1,802,243
原材料及び貯蔵品	322,200	457,792
繰延税金資産	115,566	41,020
その他	157,062	119,350
流動資産合計	6,779,791	5,119,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	794,483	767,853
機械装置及び運搬具（純額）	48,258	40,008
土地	2,162,527	2,162,527
その他（純額）	32,775	24,772
有形固定資産合計	3,038,045	2,995,161
無形固定資産		
その他	38,103	36,158
無形固定資産合計	38,103	36,158
投資その他の資産		
投資有価証券	59,647	82,965
その他	85,880	84,286
貸倒引当金	△79,731	△79,741
投資その他の資産合計	65,797	87,510
固定資産合計	3,141,946	3,118,831
資産合計	9,921,738	8,238,121

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,970,208	949,517
短期借入金	200,000	20,933
未払法人税等	23,685	26,007
賞与引当金	139,852	32,735
役員賞与引当金	13,000	—
製品保証引当金	47,000	71,000
工事損失引当金	11,700	31,600
その他	389,708	332,075
流動負債合計	2,795,155	1,463,868
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	200,000	200,000
退職給付引当金	500,643	503,971
繰延税金負債	5,662	19,322
その他	85,971	103,429
固定負債合計	1,592,278	1,626,724
負債合計	4,387,433	3,090,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	888,129	419,355
自己株式	△278,091	△278,091
株主資本合計	5,541,118	5,072,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,960	23,095
為替換算調整勘定	△15,774	52,088
その他の包括利益累計額合計	△6,813	75,184
純資産合計	5,534,304	5,147,528
負債純資産合計	9,921,738	8,238,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,645,816	3,324,918
売上原価	3,754,514	2,802,398
売上総利益	891,301	522,520
販売費及び一般管理費	960,425	849,140
営業損失(△)	△69,123	△326,620
営業外収益		
受取利息	1,055	317
受取配当金	251	248
受取賃貸料	9,566	8,840
保険配当金	12,138	8,305
為替差益	—	40,193
その他	5,717	3,159
営業外収益合計	28,729	61,064
営業外費用		
支払利息	8,068	8,588
売上割引	1,408	6,543
その他	6,960	8,186
営業外費用合計	16,437	23,319
経常損失(△)	△56,832	△288,874
特別損失		
固定資産売却損	—	5,403
固定資産除却損	56	175
特別損失合計	56	5,578
税金等調整前四半期純損失(△)	△56,888	△294,453
法人税、住民税及び事業税	12,079	33,262
法人税等調整額	△542	79,471
法人税等合計	11,536	112,733
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△68,425	△407,186
四半期純損失(△)	△68,425	△407,186

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△68,425	△407,186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,768	14,134
為替換算調整勘定	△3,176	67,863
その他の包括利益合計	△4,945	81,998
四半期包括利益	△73,370	△325,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73,370	△325,188

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,889,971	755,844	4,645,816
セグメント間の内部売上高 又は振替高	175,860	192,944	368,804
計	4,065,832	948,789	5,014,621
セグメント利益	350,316	113,340	463,656

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	463,656
セグメント間取引消去	16,978
全社費用(注)	△549,759
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△69,123

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,469,099	855,819	3,324,918
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,893	7,974	14,867
計	2,475,992	863,793	3,339,786
セグメント利益	1,465	71,943	73,409

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	73,409
セグメント間取引消去	31,243
全社費用(注)	△431,273
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△326,620

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	980,950	65.0
光学装置	730,161	36.0
電子部品装置	748,796	249.4
その他装置	9,190	16.9
真空技術応用装置事業計	2,469,099	63.5
サービス事業		
部品販売	644,927	112.3
修理・その他	210,083	116.7
サービス事業計	855,011	113.3
合計	3,324,110	71.6

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) (千円)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	1,121,870	124.2	498,919	75.1
光学装置	2,198,639	116.3	1,824,828	123.5
電子部品装置	782,703	102.1	502,524	84.5
その他装置	232,390	426.2	223,200	—
真空技術応用装置事業計	4,335,603	120.0	3,049,472	111.4
サービス事業				
部品販売	645,735	112.1	—	—
修理・その他	210,083	116.7	—	—
サービス事業計	855,819	113.2	—	—
合計	5,191,423	118.8	3,049,472	111.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	980,950	65.0
光学装置	730,161	36.0
電子部品装置	748,796	249.4
その他装置	9,190	16.9
真空技術応用装置事業計	2,469,099	63.5
サービス事業		
部品販売	645,735	112.1
修理・その他	210,083	116.7
サービス事業計	855,819	113.2
合計	3,324,918	71.6

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。